

市町村名	浦添市						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 島桑オジー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
担当部課名	市民部 産業振興課	事業実施(予定)年度 平成24~33年度					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	第3章-3-(9)-イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成						
実施方法	III-1-(4)						
事業内容	沖縄の桑品種である「シマグワ」を利用した特産品の開発・普及を、年々増加する高齢者労働力を活用し推進することで地域の活性化を促進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,424	31,059	34,925	41,281	39,288
		(b) 予算現額	32,422	31,017	36,567	41,231	39,623
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2	▲ 42	1,642	▲ 50	335
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	32,422	31,017	36,567	41,231	39,623
	B. 執行済額	26,747	27,314	31,904	32,431	34,563	
	うち交付金充当額	19,456	21,851	25,523	25,944	27,650	
	次年度繰越額	—	—	—	—	—	
	執行率 (%) (B/A)	82.5%	88.1%	87.2%	78.7%	87.2%	
予算の状況の説明	予算を減額した理由は入札差額である。未執行額は、売上残額、執行残額、対象外経費によるものである。契約仕様書に記載されている内容はすべて履行しており適正である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
			26年度(4-⑤)	27年度(4-③)	28年度(4-③)	29年度(4-①)	
	桑の栽培	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	商品製造	目標	(—)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	—	実施	実施	実施	
	商品開発	目標	(—)	(—)	(2商品)	(実施)	
		実績	—	—	2商品	実施	
	販売促進	目標	(—)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	—	実施	実施	実施	
達成状況説明	・「桑の栽培」については、将来的な販路拡大を見越し原料である桑葉及び桑果実を安定生産するために必要な畑の拡大を行った。 ・「商品製造」については、収穫物を商品に加工した。 ・「商品開発」については、果実品種の育成、果実酒、果実酢の開発を進めた。 ・「販売促進」については、県内外に向けた販売促進活動を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(24年度)	27年度(4-③)	28年度(4-①)	29年度(4-①)	目標値(36年度)	
	事業に要する桑園契約面積	目標	(3,160坪)	(7,800坪)	(8,800坪)	(9,800坪)	(11,000坪)
		実績		7,776坪	8,425坪	7,781坪	
	乾燥桑葉原料(桑茶商品の原料となる乾燥葉の生産量)	目標	(0kg)	(1,600kg)	(2,400kg)	(3,000kg)	(77,000kg)
		実績		1,321kg	1,998kg	2,126kg	
桑関連商品合計販売額	目標	(90千円)	(8,000千円)	(12,000千円)	(14,000千円)	(35,000千円)	
	実績		4,762千円	12,202千円	17,235千円		
進捗状況説明	・「事業に要する桑園契約面積」については、畑の賃借地が一部返還となり達成できなかったが、返還を見越した目標値であったため、目標販売額に影響は生じなかった。 ・「乾燥桑葉原料」については、既存の乾燥工場だけでは加工が追いつかなくなり、新規の乾燥工場と調整を行ったが、品質調整等に時間を要したため達成できなかった。年度中に新規乾燥工場との調整も済んだため、以降は増産加工できるものと見込んでいる。 ・「桑関連商品合計販売額」については、県内・県外の認知度も向上しているため一括取引が増えてきたことから、目標値を達成することができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(桑園契約面積) ・農地については賃借であるため、地権者からの急な返還等を求められることがあり桑園契約面積の確保が不安定となる。 (乾燥桑葉原料) ・桑葉の生産量が増加しているため、加工が追いつかなくなっており、工程の見直しを図る必要がある。 (桑関連商品合計販売額) ・地理的な要因から県外企業との商談や情報収集を集約的に行うことができず県外の販路展開については機会が少ない課題がある。	(桑園契約面積) ・急な農地の返還や台風等の自然災害を見越した桑園面積の目標設定を行っている。 (乾燥桑葉原料) ・加工場の確保を複数社に増やしスムーズに加工が行える状況に整備を図っている。 (桑関連商品合計販売額) ・県外販路開拓については、短期的に県外商談会に出展し独自の情報収集を行うとともに、販売代理店と協力体制を構築し効率的に行う。

今後の取り組み方針

今年度は、シマグワの機能性ヒト試験による研究成果のPRに努めたところ、市場の反響や県外企業からの販売代理店としての契約の申し出などがきたため、交渉を進めた。県外市場に本格的に参入するにあたり、県外販売代理店システムの活用は必要だと考えられ、以降は県内と県外の商圈を分け、効率的な販路拡大ができるよう努める方針である。また、販路拡大に伴い、生産から加工の規模増大による作業システムの見直しを図ることで、より安定した品質と生産加工の確保を検討することが求められており、現在、複数の工場と条件検討を重ね改善を図っている。

新規での商品開発については、研究機関と共同で果実酒や果実酢のレシピを複数開発したものの、製造する際に実機との条件調整が必要となり、再度レシピの改善などに時間を要している。その辺りも、一つ一つ解決して確実に商品化に結び付けていく。また、新たに開発した桑品種に関しては、品種の特性や選抜を確実にし、実用性のある品種の育成、活用を目指している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
52,916	34,563	27,650	6,913	18,353

```

    graph LR
      A[浦添市 34,563千円] --> B[委託料 34,563千円]
      B --> C[公益社団法人 浦添市シルバー人材センター 34,563千円]
      D[交付対象外経費 18,353千円]
      E[沖縄特有の地域資源であるシマグワを活用した 特産品開発・事業化促進にかかる委託費]
      C --- E
      D --- C
      style D stroke-dasharray: 5 5
      style E stroke-dasharray: 5 5
      
```

	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域の特産品開発と事業化が主たる目的であるが、高齢者を活用した継続的な農業の検討としても本事業を位置づけているため契約方法は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基いた随意契約であり適正である。 ○予算規模は、予算執行に係る精査を踏まえた上での執行であると認め、執行率上も適正である。 ○受益者に対しては、事業にかかる経費以外は認めていないため妥当である。 ○目的に準じた経費支出であると認めており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	